



# ジャンプタイムス

宇美町スポーツ少年団

〒811-2121 糟屋郡宇美町平和1-1-1

宇美町住民福祉センター内

Tel 092-933-2784・Fax 933-2741

Eメール umi-machij.s.c.a@leo.bbq.jp

編集:スポーツ少年団事務局

## 創立30周年おめでとう 宇美ジュニアーズ球団創立30周年記念大会を開催



### 宇美ジュニアーズ球団 創部30周年記念大会を終えて 第30代キャプテン 齊藤 仁

令和4年5月22日、6月12日の2日間にわたり、宇美ジュニアーズ球団創部30周年記念大会が行われました。16チームが集まり4会場での開催でした。

僕たちのチーム宇美ジュニアーズ球団は、残念ながら2回戦で敗退してしまいました。悔しい気持ちとともに、もっと強くなるためにはどうしたらいいのか、チーム一丸となってがんばっていききたいと思います。そして、普段味わえない様なきんちょう感があり、とてもいい経験が出来ました。

この大会が開催できたのも、スポーツ少年団、運営の方々、保護者の皆様、応援して下さった全ての人のおかげです。野球ができることに感謝し、これからも宇美ジュニアーズ球団を引っ張っていけるようにがんばります。応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。

### ジュニアリーダースクール 1月7日～9日に開催します 沢山参加してね

2年間開催できなかったジュニアリーダースクールですが、今年は1月7日から9日にかけて篠栗町の県立社会教育総合センターにおいて開催します。対象は5年生から中学3年生の宇美町スポーツ少年団の団員です。

来年度各単位団の中心になって活躍できるリーダーを育成します。

沢山の参加をお待ちしています。



低学年の保護者の皆さん！ぜひお子さんと一緒にジャンプタイムスを読んでください！



## うみSTAカップを初開催 スタンダードズジュニア

監督 松本正朗

令和4年7月にスタンダードズジュニア主催のうみSTAカップ2022を開催しました。

原の前野球場に到着した参加チームのみなさんから、緑が綺麗ですね！と声をかけていただき、自然豊かな宇美町も感じてもらうことができました。真夏の空の下、泥だらけで野球を楽しむ子どもたちの姿にたくさんの感動をもらいました。

新型コロナウイルスで多くの学校行事や地域活動、習い事などの大会が制限されるなかでしたが、諦めることなく、負けることなくがむしゃらに頑張る全国の子どもたちをこれからも応援し続けていきます。

## 2022年度ジュニアバドミントン合同強化練習会 宇美町初心者バドミントンクラブ

7月10日(日)宇美勤労者体育センターにて「2022年度ジュニアバドミントン合同強化練習会」を開催しました。講師にアテネ五輪代表選手の森 かおり氏(ミズノアドバイザー)をお招きしました。

笹栗 航太(小学5年)

ぼくは、講習会で最初にステップを森選手に教えてもらいました。とてもきつかったけど、いっぱい練習してちょっと出来るようになったから良かったです。その次にロブやヘアピンを覚えてもらい、後ろに動かしたり、前に動かしたりできるようになりました。

午後は、午前中に教えてもらったことを少しやって、試合をしました。試合は、5試合あって4勝1敗で最後に負けてしまったけど、4勝できたし森選手から教えてもらったことを練習して、負けた人にまた挑戦して次は勝ちたいです。

またこのような講習会があったら参加してもっと上手になりたいです。

笹栗 詩帆(小学5年)

わたしは、森選手の講習会を受けるのは2回目だけど、今回初めて苦手なことについて質問してみました。

「スマッシュを強く速く打つにはどうしたらいいですか？」と聞きました。すると、素振りを速く打つこと、自分の近くまでシャトルが来るのをギリギリまで待つことを教えてもらいました。次の練習の時に意識してやれたらいいなと思います。

最初は話すのに緊張したけど、質問してみたらとてもやさしくてわかりやすく説明してくれたので、とても安心しました。とても勉強になったし、楽しかったです。森選手に教えてもらったことに気をつけて、もっと強くなれたらいいなと思います。



多くの単位団で女子団員も増えてきています。自分が好きな種目を選んで体験に来てください。

## オーシャンカップを開催 ミニバスケットボール



### チームのために自分にできること

宇美ドリームダンカース 伊豆丸 芽依

オーシャンカップに参加して私が思ったことは、ほかのチームにはドリダンにはない良いところがたくさんあるということです。プレー中に声をかけ合っていたチーム、どんなに点差がひらいてもあきらめないチーム、楽しそうにプレーするチーム。私も大きな声をかけてチーム全体にいい雰囲気を広めていきたいです。

### チームみんなで頑張ったオーシャンカップ

原田バンビーズ 藤原 ゆい

原田バンビーズは最近新しいチームメイトが3名加わり、初めての試合となりました。入部した子は、初めての試合とは思えないほど頑張っていました。

このカップ戦で、私はチームみんなの声出しやあいさつはどのチームにも負けていないと思いました。この声出しに負けないくらいのプレーをできるようにチーム一丸でがんばっていききたいと思います。

### 第12回オーシャンカップ

桜原ミニバスクラブ 山脇 舞花

私たちのチームは、身長が小さく3年生から5年生の10人だけのチームですが、小さい身長を生かして、ディフェンスを人一倍がんばり、結果は8チーム中3位でした。くやしい結果となりましたが、来年にまたこのくやしさをもとに1位を目指したいと思います。

## 中体連で九州大会ベスト8 少年野球教室出身 原 結人君



僕は、宇美町少年野球教室から東福岡自彊館の野球部に入学しました。野球を辞めようと思っていた時期もありましたが、続けると決めた以上、毎日朝早くから練習を頑張り、3年になると4番バッターを任せてもらえるようになりました。

6月から始まった中体連では、博多区大会、市大会では優勝し、県大会では準優勝をして九州大会の出場を勝ち取りました。九州大会では二回戦で負けてしまいましたが、ベスト8という成績を収めることが出来ました。今大会では遠方での試合にも関わらず、小学校の時の監督やコーチが応援にきてくださって力になりました。宇美町少年野球教室時代にはきつい練習もありましたが、そこを乗り越えたからこそ中学校で野球を続けることができ、最高の仲間とプレーをすることが出来ました。高校では、中学で果たせなかった全国を目指して頑張ります。

## 全国空手道選手権大会に出場 日本空手宇美支部 内村 翔優君



7月30・31日に群馬県の高崎アリーナで開催された全国空手道選手権大会に、ぼくは福岡県代表として組手の試合に出場しました。大会の結果は一回戦負けでした。負けた悔しさは大きかったのですが、良い経験になった事ばかりでした。

一つ目は、県大会では味わえない緊張感や雰囲気を経験できたことは良い経験になったと思います。二つ目は、他の選手の試合を間近で見られた事です。ぼくは自分の試合が終わってから同級生の試合をずっと見学していました。自分の動きとどう違うのかをしっかりと見られたからよかったです。

自分の試合の反省点は、緊張しすぎて動きが硬くなり、冷静に試合が出来ていませんでした。相手にポイントを取られてから焦り、いつも出来ていた動きが出来ていませんでした。これが大きな反省点と自分では思います。自分が大会で経験したことや反省したことを生かしてしっかり練習をして試合をしていきたいと思っています。

各単位団の特徴ある取り組みや大会の結果等を掲載しますので、写真を添えてどしどし投稿してください。

## UGTCコーチ：藤木祐一郎

UGTCは、小中学生を対象に活動しており、中学生は約20名が学校の垣根を越え一緒に練習を行い、中体連等の各種大会に参加しています。

今年の中体連陸上は、糟屋区大会において、優勝(1種目)、2位(3種目)、3位(1種目)のほか入賞者多数で上位大会へ進出。続く筑前地区大会も2位(1種目)、5位(2種目)で2名が県大会へ進出するなど、今年も好成績を収めました。

町内の中学校では、陸上部のある学校もあれば、ない学校もあります。そのような中、中体連には学校単位で登録し参加することになるため、日頃から学校との連携を図り、理解や協力を得て参加することができています。

今、「運動部活動の地域移行」が大きな話題となり、保護者や地域スポーツ関係者の関心を集めていますが、スポーツ少年団で中学生の活動をしている単位団も多く、すでに地域移行のモデルとして参考になる事例ではないでしょうか。

部活動改革とまで言われている今回の運動部活動の地域移行、確かに社会を取り巻く環境の変化によるものかもしれませんが、大前提として、子ども達のスポーツ環境が損なわれず、生涯スポーツと基礎となるようなジュニア期となるように、私たち大人が考えていかないといけない時期にあるようです。

## 部活動の地域移行を見据えて UGTCジュニア陸上教室



糟屋区大会のリレーで3位入賞した南中チームと南中・東中の中学生

### 【中体連入賞者】

#### 糟屋区大会

- 1位 松尾玄太(男子110mハードル)
- 2位 木下暖花(女子100mハードル、走幅跳)
- 2位 渡邊幌大(1年男子100m)
- 3位 低学年男子400mリレー  
(工藤、時崎、平田、安居)

#### 筑前地区大会

- 2位 渡邊幌大(1年男子100m)
- 5位 木下暖花(女子100mハードル、走幅跳)

## 中体連で大活躍 宇美町初心者バドミントンクラブ



「祝おめでとう！」のたすきは、糟屋地区大会準優勝の時に指導者が準備して掛けいただきました。



### 宇美南中学校3年 牧野 夢悠

6月18日に開催された中体連の糟屋地区大会で準優勝を手にして筑前地区大会に進むことができました。

7月22日、筑前地区大会当日、僕は勝つ気持ちだったので体育館に入りました。筑前地区大会に出るのは初めてだったので緊張しました。糟屋地区大会から1ヶ月の間、コーチに鍛え上げてもらいました。自分でも強くなったのかわからないまま試合に臨みました。でも、そこを狙ったとしても通用せず、どんどん点数を決められていくばかりでした。結果は、21対8と完全敗北しました。

その後、僕は受験のためにバドミントンを辞めました。世の中には僕と同じ中学3年生でも、強い人と弱い人がいる「力の差」があることを教えられました。しかし、初めてこの大会に出場できたことはとても嬉しかったと今でも思います。

### 宇美南中学校3年 田中 裕太

ぼくはバドミントンを始めてからまだ1年2ヶ月しかたってないけど、中体連に出ました。試合が始まるまで、足を引っ張ってしまうのではないかと心配していました。とても緊張していましたが、コーチや親やペアの牧野君に緊張をほぐしてもらいながら、一試合目の順番を待っていました。

一試合目はとても緊張していたので、思った以上にいいプレーはできませんでした。それでも勝てたのでよかったです。二試合目では、緊張もだんだんほぐれていいプレーができて勝てたのでよかったです。準決勝では、準決勝ならではの緊張がすごくて、少し危なかったけど勝てたので良かったです。これで筑前地区大会出場が確定でした。決勝は相手がとても強くて負けてしまいましたが、筑前地区大会に行けることになったこと、たくさんの人たちに褒められたことは嬉しかったです。

宇美町スポーツ少年団では、九州で最多の約200人の中高生団員が所属し活躍しています。

# 中体連で学んだことを次に生かそう！

宇美中3年 白垣 翔雅

私は、小学校では九州で1番となり、次の目標を日本一に切り替えて頑張ることを決めました。

しかし、中学校では週3回しか練習ができない中で、他の中学校の生徒に抜かされないためには何をすればよいのか、その答えは「努力する」の1つだけでした。

そして3年に向けて再スタートを切る大事な時に私事で左足首の靭帯を2本も切る大怪我をしてしまいました。「お前はもう日本どころか県でも優勝できないよ。」と父に言われ、自分はたくさんの人の期待を裏切る事になってしまうと思い、練習ができない期間は上半身を鍛え、日本一を目標のままとし、できることをしました。そして3ヶ月前でやっと練習ができるようになり、道着を着て道場に立つと自信のない自分がありました。でも目標に一步でも近づくために人の倍の練習をし、人の倍の努力もし、数か月後に以前の自分を取り戻すことが出来ました。

そして、3年となり最後の中体連となり追い込みをかけて練習していると、先生に「お前強くなっている。自信を持ってやれるぞ！」と声をかけてもらい、より自信ができて、絶対に勝つという気持ちで練習に集中しました。いよいよ中体連となり、県大会まで進みました。

たくさんのライバルがいる中、1、2回戦を突破し、準決勝は優勝候補の一人と対戦し、負けてしまいました。そして日本一の目標が県3位という残念な結果に終わりましたが、ここで腐れず、努力の足りなかった自分を認め、高校ではまた日本一を目指して努力を倍増し、高校で恩返しができるように日々精進していきます。

## 宇美町少年柔道教室



## 宇美剣友会少年剣道



宇美中学校3年 宮本 泰志

6月18・19日に須恵中学校で中体連糟屋区大会がありました。

団体戦では、一回戦に久山中学校と対戦しました。自分にまわってくる前に勝ちが決まっていたので落ち着いて試合をすることが出来ました。二回戦は、志免東中学校と対戦しました。自分にまわってきた時は、二本勝ちをしないと代表戦まで持ち込むことができず、必死で取りに行きましたが、一本しかとる事ができず負けてしまいました。

その後、敗者復活戦で篠栗中学校とすることになりましたが、昨年の中体連で負けていたので絶対に勝ちたいと思いました。篠栗との対戦では、昨年自分と同じ悔しい経験をしたチームメイトのおかげで勝つことができ、後の新宮東中学校にも勝つ事が出来ました。次に勝つ事が出来たら、筑前大会に出場することができます。相手は新宮中学校です。自分にまわってきた時には、チームの負けが決まっていたのですが、最後はしっかり勝ちたいと思い、精一杯頑張りました。しかし、残念ながら負けてしまいました。とても悔しかったけど、翌日の個人戦に向けてしっかり気持ちを切り変えました。

個人戦では、一回戦は勝つ事が出来ましたが、二回戦で前日の新宮中学校の同じ選手に負けてしまいました。残念ながら男子は全員敗退で悔しい思いをしましたが、女子が団体、個人戦で筑前大会へ出場する事ができたので良かったです。



## 中学生ドッジボール大会開催 原田WINGS

毎年恒例、原田WINGS主催の「中学生ドッジボール大会」を部活動が休みになるお盆期間に開催しました。

今年は県内外の14チームが集まり、小学生のころ夢中になっていたドッジを思い出しながら、各チーム楽しい時間を過ごしました。

原田WINGSのOBは、この日勝ち上がる為に部活の合間、皆で集まり練習を入れていました。予選では厳しい対戦でしたが、トーナメントに上がったのをきっかけにチーム一丸となり、3位入賞で終わる事ができました。

3年生はこの大会が終わると受験へとシフトチェンジします。次の戦いにも負けずに挑んで欲しいと思います！

頑張れ原田WINGSの卒部生！



## 創部20周年記念大会を開催 原田WINGS

原田WINGS 席 聡美

今年、原田WINGSは創部20年を迎えました。指導者は20年間、監督とコーチの2人だけ。これまで90名の卒団生を送り出しました。卒団生やその保護者のお手伝いを募り、8/14(日)かすやドームにて20周年記念大会を開催することができました。大会後に歴代の卒団生と現役部員の自己紹介やドッジの試合を行い、楽しい時間を過ごしました。20周年を祝福してくれた沢山の仲間のチーム、早朝よりお手伝いをしてくれた卒団生と保護者さん、全ての準備を担ってくれた実行委員さん、心より感謝申し上げます。30周年を目標にこれからも子ども達の指導に精進したいと思います！



宇美町スポーツ少年団では13種目25単位団で約650人の団員と約160人の登録指導者が活動しています。



7/9(土)に奉仕活動を実施しました。勤労者体育センターの窓ふきや駐車場の草取りを行いました。団員30名、母集団18名の計48名の参加がありました。



宇美ジュニアーズ球団の団員も草取りを頑張りました。

## 全体奉仕活動を実施

一般利用者にも気持ちよく使ってもらいたい  
初心者バドミントンクラブ  
宇美ジュニアーズ球団

宇美町スポーツ少年団では、活動の主となるスポーツ活動以外にも、社会貢献活動や、文化学習活動、野外活動、各種交換交流活動、体力測定等を行っています。

特に大切にしているのが社会貢献活動で、毎年6月を全国の仲間と共に実施する「一斉清掃活動」と位置付け、日ごろ使っている施設の清掃活動や、周辺のゴミ拾いなどを行っています。

団員達も、「一般の利用者の方々にも気持ちよく施設を使ってもらいたい。」と熱心に清掃活動を行っています。

地域社会と密接に係わりながら活動するのがスポーツ少年団です。

清掃活動もユニフォームを着用して、地域の方々に積極的にPRしています。

## スタートコーチ養成講習会

令和5年2月19日  
宇美南町民センターで開催

宇美町スポーツ少年団では、認定員養成講習会に代わるスタートコーチ養成講習会を、令和5年2月19日(日)に、宇美南町民センターで開催します。

現在、宇美町スポーツ少年団に登録している指導者は約160名、その内公認資格であるスポーツリーダー資格を所有されている公認有資格指導者約130名です。

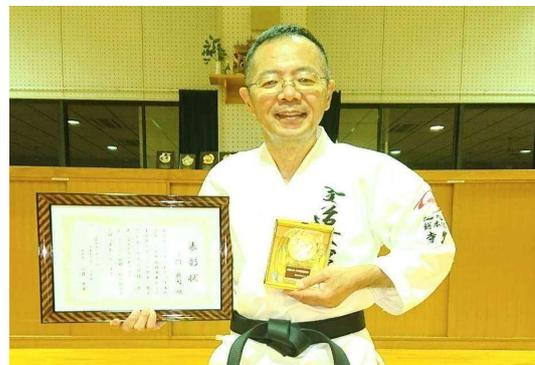
残り30名の指導者の皆様には、スタートコーチの資格を取得していただき公認有資格指導者として活動していただきたいと願っています。

上位資格の取得等にもつながる大切な講習です。ぜひお申し込みください。

- 期日:** 令和5年2月19日(日)
- 場所:** 宇美南町民センター研修室
- 締切:** 令和5年1月11日(水)
- 内容:** 講義「スポーツの意義と価値  
          スポーツ少年団とは」他  
          グループワーク
- ※実技講習は行いません**
- ※お問い合わせはスポ少事務局まで**

## 令和4年度功労者表彰

至道会館空手道連盟宇美支部  
寺門眞司さん



令和4年度宇美町スポーツ少年団功労者表彰の伝達式が、6月11日に町立武道館で行われ、至道会館空手道連盟宇美支部の寺門眞司さんに贈られました。

寺門さんは、ジュニアスポーツ指導員資格を取得され、新入団員を中心に指導を受け持っておられます。

また、体験に来た子ども達が最初に接する指導者でもあり、至道会館に体験に来た子ども達は、ほぼ100%入団に結び付いています。寺門さんは「体験に来てくれた初日が一番大切で、子どもたちが楽しいと感じなくては続きません。最初に厳しさや礼儀作法から入るのではなく、いかに楽しませるかを追及しています。」と語られました。

# 宇美町スポ少OBが相撲で全国優勝

## 至道会館空手道連盟・宇美町少年柔道教室出身 松井奏風人君



鳥取県の鳥取城北高校三年生で相撲部に所属する松井奏風人君は、宇美町スポーツ少年団の至道会館空手道連盟や少年柔道教室で活動していました。

当時から格闘センス抜群で、低学年の頃から子ども会相撲大会に参加し、町の代表として郡大会などにも出場してきました。

インターハイでは、個人戦で惜しくも準優勝でしたが、団体戦決勝戦では大将として土壇場2対2からの逆転勝利で、見事優勝に導きました。

また、10月1日から栃木県で開催された国民スポーツ大会相撲競技では、個人戦で4位、団体戦ではインターハイに続き見事優勝の栄誉を勝ち取りました。

今後の進路は未定だそうです。益々の活躍が期待されています。

## 福岡地区スポーツ少年団交流事業で海洋スポーツ体験

### 宇美町初心者バドミントンクラブのリーダー3名が参加



7月24日(日)に福津市の勝浦浜海洋スポーツセンターにおいて、福岡地区スポーツ少年団海洋交流事業が行われました。

コロナ禍で人数を制限しての開催でしたが、宇美町から初心者バドミントンクラブのリーダー3名が参加しました。

ヨット体験、海洋カヌー体験、ロープワーク、海辺の生物観察を行い、最後に参加者みんなで浜辺のゴミ拾いを行いました。

初めて体験する海洋スポーツ体験に、参加者も大満足だったようです。

企画・運営を行って頂いた福津市と宗像市スポーツ少年団の皆様、大変お疲れさまでした。そしてありがとうございました。



宇美町リーダー会の活動には  
宇美町社会福祉協議会  
が取り組んでいる赤い羽根共同募金  
助成金を活用しています。

リーダー会に入ると国際交流や国内交流に参加するチャンスが巡ってきます。君もリーダー会に入ろう！